

## 中国を核に貿易関係が深まる B R I C s 経済

～ ブラジル、ロシア、インド経済に恩恵をもたらす中国の高成長～

2006年5月7日(日)

B R I C s 経済研究所 代表 門倉 貴史

E-mail: [postbrics@yahoo.co.jp](mailto:postbrics@yahoo.co.jp)

～ 要 旨 ～

近年、中国を核として B R I C s 各国の貿易関係が強まっている。ブラジル、ロシア、インドから中国に向けた輸出金額はここ数年の間に急増した。

もちろん、中国から他の B R I C s に向けた輸出も増加傾向にあるが、中国では対 B R I C s に限って輸出よりも輸入の拡大スピードのほうが速いため、B R I C s 各国は多額の対中貿易黒字を計上している。B R I C s 各国の経済は、中国向け輸出の拡大で多大な恩恵を受けているといえよう。中国の高成長が他の B R I C s の経済成長に影響しているかどうかを確かめるため、B R I C s 4 カ国の実質成長率(前年比)について、統計的な因果関係のテストを行ってみた。その結果、1980～95年の期間では4カ国の実質経済成長率に明確な因果関係は観察されなかったが、90～2005年の期間では、中国の経済成長率が高まると、それを受けてブラジル、ロシア、インドの経済成長率が高まるという因果関係が観察された。

今後、中国と他の B R I C s の経済的な距離は、貿易取引の深化を通じてさらに強まっていく可能性が大きい。中国の温家宝首相は、2005年3月に開催された全国人民代表大会・政府活動報告において、発展途上国との経済協力をさらに重視する方針を示した。東南アジア諸国や他の B R I C s 諸国との貿易関係を強化していくことが狙いだ。すでに、中国は B R I C s と2国間交渉を積極的に進めている。

中国を中心に B R I C s 各国が経済関係を強化していけば、将来は B R I C s 内で完結する巨大経済圏が形成される可能性もあるといえよう。